

新潟こども保育カレッジ 教育情報

1. 学修状況の確認方法

- ・ 定期考査、確認テスト、課題、報告書、研究発表等で学習状況を確認する。
- ・ 担任との面談を実施し、学習状況（単位の取得状況、出席状況、健康状態等）、学習課題を確認する。
- ・ 各授業の理解度を確認するために授業の最後に C-Learning での確認テスト、アンケート調査を実施する。

2. 学修支援体制

- ・ 成績優秀者への奨励や表彰をする。
- ・ 成績不振者、出席不良者への補習、補講と保護者との連携を図る。
- ・ 各科目の授業期間中において、課題、レポート、確認テスト等を課し、フィードバックに努める。
- ・ 保育士としての専門知識、保育技術を高めるため、実習や演習科目などの実践型学習を積極的に取り入れる。
- ・ 能動的学習の充実のため、アクティブ・ラーニングなどの体験型学習の機会を積極的に取り入れ、学生が自ら学ぼうとする姿勢を評価し支援する。
- ・ 質問のある学生や個別指導を要する学生には放課後等に担当する教員が対応する。
- ・ 担任制を実施し、責任を持って、助言、修学指導を行う。
- ・ 自己診断等を実施し、学生自身の適性を認識し、将来の進路選択の参考にしている。
- ・ C-Learning を活用し、授業のアンケート実施し、理解状況を把握している。
- ・ 複数の特別講座を実施し、学生の卒業後の進路を見据えた多分野の学習支援を可能にしている。
- ・ 校内奨学生制度があり、経済的に就学が困難な学生に対し、奨学生として認定し、幅広く就学する機会を提供している。

3. 学外試験検定資格取得状況

- ・ 保育士資格により専門性と実践力を備えた保育者育成のために、心理学分野の資格取得可能にしている。

4. 受賞・表彰状況

- ・ 校内表彰（成績優秀者に対し「奨励賞」、努力した学生に「努力賞」、年間を通じて皆勤者に「皆勤賞」）を表彰します。

5. 修学時間の傾向

こども保育科

講義授業 31%、演習授業 62%、実習授業 5% 実技授業 2%

6. その他の特徴

- ・ 学生と教員の距離が近く、個別対応を重視している。また学生からの質問や相談には親身な対応を心掛けていることもあり、学生の学校職員に対する信頼感は厚いと言える。